

食糧不足から環境問題について知ろう

■プログラムの概要

ねらい	世界の様々な国や地域でおこっている食糧不足から、地球環境の問題に対して目を向ける感受性を育む。その中で、この世界に対し自分のできることを考え、実践していく力を養う。		
分野	地球温暖化、食育		
対象	小学5年～中学3年		
時間	90分	実施場所	教室
使用するもの	ワークシート、地図帳、関連資料、パソコン、プロジェクター、スクリーン		
全体の流れ	<ol style="list-style-type: none">1. 発展途上国の貧困・飢餓の現状を知る。 写真を見て解ること・感じたこと2. 貧困・飢餓の原因にはどんなものがあるのか。 戦争・地球温暖化（砂漠化・異常気象など）など3. 食糧不足と密接に関係している環境問題 どのような問題がどのように関係しているか。4. まとめ 豊かな世界をつくるためにはどのようなことをしていくべきか。 私たちはどのようなことに取り組めばよいのか。		

■進め方

時間	学習内容	指導上の留意点
5分	あいさつ 今日の流れの説明	
15分	<p><食糧不足って何?> 発展途上国の貧困・飢餓の現状を知る。</p> <p>①食糧不足の意味を理解する。 ・写真を見て感じたこと</p> <p>②食料はあるのに、飢えに苦しんでいる人がいるのはなぜ?</p> <p>③日本はどうか?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食糧不足の国の状況を言葉だけではなく、具体的な現状を写真・地図等を用いて説明するとよい。 ・地図帳を用いて具体的に場所を確認する。 ・今までの学習や、新聞、ニュース等の知識をもとに、生徒の積極的な発言を促す。 ・出された意見は黒板にまとめ、生徒はワークシートに記入する。
25分	<p><食糧不足の原因となる事柄> 食糧不足の不釣り合い。貧困・飢餓の原因にはどんなものがあるのか。</p> <p>①武力紛争 ②戦争 ③天災 ④人為的災害</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食料自給率の説明も含めて行う。 ・各国の状況によって、温暖化対策への考えも違ってくことを理解させ、そこに貧困や飢餓などの問題が絡んでくことを考えさせる。 ・貧困や飢餓の原因には多様なものがあるが、生徒が調べる際には、生徒の関心を大事にする。 ・飢餓については、写真資料などを生徒に提示し、理解を深めさせる。
30分	<p><人為的災害と私たちの暮らし> 食糧不足の原因の一つである人為的災害と私たちの暮らしについて考える。</p> <p>①人為的災害の種類 ②災害と関わる環境問題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ、もしくはクラスでウェビング（※興味や関心を広げ、連想される言葉を書き出した見取図の役割を果たすもの。）を作成しても良い。
15分	<p><まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな世界にしていくために、どのようなことをしていくべきか。 ・私たちはどのようなことに取り組めばよいのか（今回取り上げた、地球温暖化を防ぐためには）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ毎に考え発表する。 ・世界・国・企業レベルでできることを考える。（中学生） ・行動の目標は大げさにならず、個人のできることを話し合う。 ○3R ○エコクッキング ○ボランティア活動、わたしたちができることを考える。

■使用するもの

物 品 名	数 量	備 考
ワークシート	1人1枚	
食糧不足の国の現状が解る写真や資料		
地図帳	グループで1冊	

■実施にあたって留意する点

- 環境問題は、世界の政治や経済、貧困や飢餓などの多くの問題と関わりあっていることを認識させる。
- 世界の環境を良くするために、生徒が身近なことで取り組めることを考えさせる。
- 学習の流れによっては、地球温暖化が与える影響のひとつとして、食糧不足を取り上げる形をとってもよい。

